

第六十九回
帝國議會
貴族院

産繭處理統制法案特別委員會會議事速記録第一號

昭和十一年五月十九日(火曜日)午前十時
十九分開會

○委員長(男爵大森佳一君) ソレデハ開會

致シマス、農林大臣ハ、今日午前ニ本會議
ノ方デ米其ノ他ノ法案ガ上程サレルサウデ
アリマスカラ、其ノ方ニ見エルサウデアリ
マス、御承知願ヒマス

○男爵三須精一君 私ハ第一條ノ第四號ノ

「前各號ニ掲グルモノノ外勅令ヲ以テ定ムル
方法」トアリマス此ノ勅令ヲ以テ定ムル方
ト云フコトニ付テ御伺ヒシタイト思ヒマ

○政府委員(井野碩哉君) 第一條第四號ノ

勅令ヲ以テ定ムル方法」ト致シマシタノハ、
現在此ノ一號カラ三號ニ掲ゲテゴザイマス
ル合理處理形態ノ外ニ、豫想致シテ居リマ
スモノハ委託製絲デアリマスガ、併シ唯委
託製絲ダケデハゴザイマセヌノデ、今後例
ヘバ共榮蠶絲組合ト云フヤウナモノガ民間
ニ於キマシテ其ノ必要ガ提唱セラレテ居ル
ノデアリマス、サウ云フモノガ出來テ參リ
マスレバ、此ノ勅令ヲ以テ指定致ス積リデ
ゴザイマス

○男爵三須精一君 尙第二條ノ「繭ノ品位

ニ付キ檢定ヲ行フ」ト云フコトガゴザイマ
スガ、此ノ繭ノ檢定ニ付キ少シ詳シイ説明
ヲ願ヒタイノデゴザイマス、ドウ云フ方法
デヤルノデゴザイマスカ

○政府委員(井野碩哉君) 第二條ニ規定シ

テゴザイマス檢定ノ方法ニ付キマシテ申上
ゲマスト、檢定ト云フコトハ御承知ノ如ク
第三者ガ致スノデゴザイマシテ、從來ハ賣
手ト買手トノ間ニ於キマシテ買手が檢定致
シテ居リマシタガ、其ノ間ニ色々ノ弊害ガ
アル、即チ賣手が自ら知ラズシテ、買手ノ
ミガ檢定ヲ行ヒマス爲ニ、買手ノ勝手ナ成
績ニ依ツテ取引サレルト云フ所ニ非常ナ弊

害ガゴザイマシタノデ、今回ノ法案ニ於キ
マシテハ第三者ガ檢定ヲスルト云フコトニ
致シタノデアリマス、其ノ第三者ハ誰ガス
ルカト申シマスト、縣ガ致スノデゴザイマ
ス、縣ガ檢定所ヲ設ケマシテ、其ノ檢定所
ニ、賣手買手ノ間ニ契約ガ成立致シマシタ
時ニ其ノ品物ノ中カラ或一定ノ「サンプル」
ヲ取りマシテ、其ノ「サンプル」ニ付キマシ
テ檢定ヲ致シマシテ、其ノ成績デ以テ取引
サレタル所ノ繭ノ價格ヲ決定スルト云フコ
トニナツテ參ルノデゴザイマス、檢定ノ方

法ハドウ云フ方法カト申上ゲマスト、細カ
ク申上ゲマスト非常ニ複雑ナノデゴザイマ
スガ、簡單ニ申上ゲマズレバ、七ツノ項目
ニ付キマシテ檢定ヲ致スノデゴザイマス、
一ハ選除繭、繭ヲ除ク檢定デゴザイマス、
ソレハ玉繭デゴザイマストカ、屑繭ガ中ニ
入ツテ居リマスト成績ガ非常ニ違フテ參リマ
スノデ、サウ云フモノヲ先ヅ取除ケルコト
ヲ致スノデアリマス、二ハ繭絲長、即チ繭
ノ絲ノ長サ、繭絲長ノ檢定デゴザイマス、
是ハドノ位其ノ繭カラ絲ガ取レルカト云フ
檢定デアリマス、ソレカラ第三ハ繭絲織度、
絲ノ太サノ檢定ヲ致スノデアリマス、繭絲
織度ノ試験、第四ハ落緒回数、是ハ絲ヲ引
イテ居リマス間ニ切レマス詰リ何遍緒ガ落
チルカト云フ回数ヲ調べルノデアリマス、
第五ガ生絲量、是ハ一粒ノ繭ノ中ニドノ位
ノ生絲ガ含マレテ居ルカト云フコトヲ調べ
ルノデゴザイマス、第六ガ繭絲量、是ハ解
舒ノ成績ヲ見ルノデアリマシテ、一時間ニ
繭絲致シマスノニ、ドレ位解舒ガ良イカ悪
イカト云フコトヲ見ル成績デゴザイマス、
第七ガ小類デゴザイマス、ソレハ繭カラ得
マス生絲ノ中ニドノ位小類ガアルカドウカ

ト云フコトヲ調べマシテ、是デ以テ大體繭
ノ性状即チ品位ヲ檢査致シマシテ、サウシ
テ其ノ成績ヲ現シマシテ、之ヲ賣買當事者
ニ示シマシテ、此ノ成績ニ依リマシテ取引
ヲスルト云フコトニナルノデゴザイマス

○男爵三須精一君 サウシマスト、此ノ檢
定ニ依リマシテ、各等級ヲ何方區別サレル
ノデアリマスカ

○政府委員(井野碩哉君) 檢査ヲ致シマス
ニ、二ツノ行キ方ガアルノデゴザイマス、
一ツハ品位ノ各々ノ性質ヲ其ノ儘成績デ
現シマスノト、今御尋ネノ等級ヲ付ケル所
謂格ヲ付ケル格付ト云フ行キ方ト、二ツア
ルノデゴザイマス、此ノ生絲ニ付キマシテ
ハ、現在横濱ト神戸ニ檢査所ガ出來テ居リ
マシテ、生絲ノ格ヲ付ケテ居リマス、併シ
マダ繭ニ付キマシテハ格ヲ付ケル程マデノ
研究モ出來テ居リマセヌ、是ハ今豫算ヲ取
リマシテ、年々非常ナ努力ヲ以チマシテ、
各方面デ格付ノ研究ヲ致シテ居リマスケレ
ドモ、マダ的確ナル確信ヲ得ルマデニハ至ッ
テ居ラナイノデゴザイマス、從ツテ現在ノ檢
定ヲ致シマスノニハ、其ノ各々ノ唯今申上
ゲマシタヤウナ七ツノ事項ニ付キマシテノ

ト云フコトヲ調べマシテ、是デ以テ大體繭
ノ性状即チ品位ヲ檢査致シマシテ、サウシ
テ其ノ成績ヲ現シマシテ、之ヲ賣買當事者
ニ示シマシテ、此ノ成績ニ依リマシテ取引
ヲスルト云フコトニナルノデゴザイマス

○男爵三須精一君 尙第二條ノ「繭ノ品位

法ハドウ云フ方法カト申上ゲマスト、細カ
ク申上ゲマスト非常ニ複雑ナノデゴザイマ
スガ、簡單ニ申上ゲマズレバ、七ツノ項目
ニ付キマシテ檢定ヲ致スノデゴザイマス、
一ハ選除繭、繭ヲ除ク檢定デゴザイマス、
ソレハ玉繭デゴザイマストカ、屑繭ガ中ニ
入ツテ居リマスト成績ガ非常ニ違フテ參リマ
スノデ、サウ云フモノヲ先ヅ取除ケルコト
ヲ致スノデアリマス、二ハ繭絲長、即チ繭
ノ絲ノ長サ、繭絲長ノ檢定デゴザイマス、
是ハドノ位其ノ繭カラ絲ガ取レルカト云フ
檢定デアリマス、ソレカラ第三ハ繭絲織度、
絲ノ太サノ檢定ヲ致スノデアリマス、繭絲
織度ノ試験、第四ハ落緒回数、是ハ絲ヲ引
イテ居リマス間ニ切レマス詰リ何遍緒ガ落
チルカト云フ回数ヲ調べルノデアリマス、
第五ガ生絲量、是ハ一粒ノ繭ノ中ニドノ位
ノ生絲ガ含マレテ居ルカト云フコトヲ調べ
ルノデゴザイマス、第六ガ繭絲量、是ハ解
舒ノ成績ヲ見ルノデアリマシテ、一時間ニ
繭絲致シマスノニ、ドレ位解舒ガ良イカ悪
イカト云フコトヲ見ル成績デゴザイマス、
第七ガ小類デゴザイマス、ソレハ繭カラ得
マス生絲ノ中ニドノ位小類ガアルカドウカ

ト云フコトヲ調べマシテ、是デ以テ大體繭
ノ性状即チ品位ヲ檢査致シマシテ、サウシ
テ其ノ成績ヲ現シマシテ、之ヲ賣買當事者
ニ示シマシテ、此ノ成績ニ依リマシテ取引
ヲスルト云フコトニナルノデゴザイマス

○男爵三須精一君 尙第二條ノ「繭ノ品位

成績ヲ現シマシテ、其ノ成績ダケ示スノデ

ゴザイマスカラ、等級ヲ付ケルト云フ程度ニ

ハナツテ居ラナイノデアリマス、併シ現在各

府縣ニ於ケル取引ノ實狀ヲ見テ居リマス、

此ノ品位ノ各、成績カラ、當事者ガ勝手

ニ格ヲ付ケマシテ取引ヲシテ居ル所モアル

ノデゴザイマス、檢定強制マデ參リマスノ

ニハ、格ニ依ツテ強制ハマダ致サナイ、併シ

此ノ法案ガ四五年後ニ檢定ノ強制ヲ施行ス

ル譯デゴザイマス、ソレ迄ニ格ノ研究ガ完

成致シマシタナラバ、格付ノ強制ヲ致サウ、

斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○委員三須精一君 私ハ宜シウゴザイマス

○委員長(男爵大森佳一君) 御質問ハ如何

デゴザイマスカ、實ハ農林大臣ガ先列申上

ガマシタヤウニ、午前中本會議ノ方ニ法案

ガ上程セラレテ居リマス爲ニ、ソノ説明其

ノ他デソチラヘ出席シテ居リマス、ソレガ

何時濟ミマシテ、何時コチラヘ出ラレルカ

チヨット分リ兼ネマス、午後ハ慥カ來ラレル

餘裕ガアリマス、御承知置キテ願ヒマス、

ソレカラ此ノ際御質問ガゴザイマセウ

カ……進行ニ關シマシテチヨット休憩致シ

テハ如何カト思ヒマス、只今御質問ガアリ

マスレバ爲サツテ、後デ宜シケレバ是カラ

休憩ヲ致シマシテ、御相談ヲ致シタイト思

ヒマス

(「賛成」ト呼フ者アリ)

○委員長(男爵大森佳一君) ソレデハ休憩

ヲ致シマス

午前十時三十二分休憩

午後二時九分開會

○委員長(男爵大森佳一君) ソレデハ午前

ニ引續イテ開會ヲ致シマス、御質問ヲ願ヒ

マス

○長野忠次君 私ハ大臣ニ二三ノ御質問ヲ

致シタイト思ヒマス、蠶絲ガ國產ノ重要品

デアルガ故ニ、人絹ノ進出其ノ他ノ事情ノ

壓迫ニ對シテ、適正ナル手段ヲ講ゼラルベ

キコトハ勿論ノコトデアリマス、特ニ生絲

價格ノ亂高下ト云フモノガ、此ノ當業ノ興

廢ニ及ボス影響ノ極メテ大ナルコトハ喋々

ヲ待タザル次第デゴザイマス、生絲ハ國際

商品デアアルガ爲ニ、是ガ需給、從ツテ價格ノ

騰落ト云フモノノ原因ハ、需要者タル米國

側ニ存在スルモノデアツテ、國內需要品ノヤ

ウニ、一方的ニ決定シ得ルモノデハナイノ

デアリマス、從ツテ無理ナル價格ノ維持等ハ

却テ生絲ノ需要ヲ減退スルモノデアリマス

ルカラ、無理ナル人爲ノ統制ヲ行フコトハ

却テ經濟自然ノ原則ニ反シテ不良ノ結果ヲ

招來スルノ虞ガアルト思フノデアリマスル

ガ、昨今生絲價格ノ變動狀態ヲ察シテ見マ

スルニ、生絲價格ノ變動ト云フモノガ今申述

ベマシタ通り外國市場ノ趨勢ニ依ツテ起ル

ニ非ズシテ、却テ國內ニ於ケル一部思惑者

ノ買占又ハ賣叩キ等ニ依ツテ不自然ノ亂高

下ヲ現出致シマシテ需給兩者ノ圓滿ナル取

引ヲ阻害スル場合ガ極メテ多イノデアリマ

ス、是ハ時間ヲ省略スルガ爲ニ、昨年度ニ

現レマシタ著シキ亂高下ノ例ヲ舉グルコト

ハ省略致シマス、依ツテ事情ニ無理ヲ生ゼザ

ル程度ノ販賣統制法ヲ實施セラレムコトガ

業者全體ノ希望デアリマシテ、此ノ委員會

ニ於キマシテモ全委員ノ御同意ナサル、

點デアアラウト考ヘテ居リマス、所ガ特ニ清

算市場ノ管理ト云フモノニ付キマシテハ、生

絲販賣統制法ト云フモノノ制定ヲ待タズト

モ、政府ハ現在ノ機構ニ於テ出來ル限り絲

價不自然ノ亂高下ヲ是正スルガ爲ニ、臨機

適當ノ手段ヲ生産市場ノ管理ニ向ツテ實施

セラレルノ必要ガアルト思フノデアリマス

云フコトヲ一ツ伺ヒタイ、第二ニ此ノ産繭

統制法案ノ實施ニ當リマシテ、政府及地方

廳ハ是ガ運用宜シキヲ得テ、以テ養蠶及ビ

繭絲業者ノ適正ナル利益ヲ確保セラレルヤ

ウニ希望スルノデアリマスガ、具體的事項

ニ互ツテ二三ノ質問ヲ申上ゲタイノデアリ

マス、第一、檢定取引ハ檢定ノ方法ガ最モ

慎重完璧ヲ期セラレルヤウニアリタイノデ

アリマス、是ガ實施ノ方法如何ニ依ツテハ公

正ナル價格ノ決定ヲ妨ゲマシテ、養蠶、製

絲兩業者間ノ協調ヲ破ルノ虞ガアルノデア

リマス、檢定成績ガ養蠶業者ノ利益ヲ確保

スルト共ニ、製絲業者モ亦檢定成績ニ信賴

シテ安必シテ取引ヲ爲シ得ルヤウニナラナ

ケレバ、法ノ圓滿ナル成績ヲ舉ゲルコトガ

困難デアアルト思ヒマス、色々ナ條項ノ中ニ

檢定ノ成績ガ期セララル、ノデリマスルガ、

一例ヲ舉ゲマスレバ絲歩ノ問題ノ如キモ、

何時モ養蠶業側ト製絲側ノ方ニ於テ爭端ヲ

發スル問題デアリマス、檢定成績ニ現レタ

ル所ノ其ノ絲歩ヲ其ノ儘ニ見ル時ニ於テハ、

絲歩ガ、製絲業者ガ考ヘテ居リマスルヨリ

モ何時モ絲歩ノ量ガ多クナツテ居ルノデア

リマス、製絲業者ハ大規模ニ大量ノ製絲ヲ

致シマスガ爲ニ事實ノ上ニ於キマシテ幾多

ノ犠牲ヲ生ジ、豫メ想像シタル所ノ絲歩ヲ

得ナイ場合ガ大イニアルノデアリマス、檢

定所ノ成績ニ於キマシテハ、縦シソレガ最

モ完全ナル方法ニ依ツテ決定サレタモノデ

アツテモ、ソレハ生繭ノ時ニ於ケル其ノ絲歩

ヲ決定シタルモノデアリマスルカラ、事實

ノ上ニ於テ、此ノ大量ノ製絲ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ絲歩ガ輕減セラレルト云フコトハ爭フベカラザル事實デアアルノゴザイマス、ソレデ此ノ點ニ付テハ檢定所ニ於キマシテモ十分ノ考慮ヲナスツキラッシャルコトト考ヘマスルケレドモ、尙一層此ノ點ニ付キマシテハ色々事實ヲ御參酌下サイマシテ、其ノ檢定所デ舉ゲラレタル絲歩ガ、製絲ヲ實際ニ行フニ當ツテソレダケノ絲歩ガ得ラレナイト云フヤウコトノ起ラナイヤウニ願ヒタイノデアリマス、此ノ點ガ非常ニ養蠶業者ト製絲業者ノ間ニ於テ圓滿ナル價格ノ決定ヲスル場合ニ於テ差支ヲ生ズル點デアリマスカラ、特ニ申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス、當局ハ此ノ點ニ付キテ十分ナル考慮ヲ拂ハレテ、圓滿ナル實施ノ結果ヲ見ルヤウニ善處セラレムコトヲ希望致シマスガ、特ニ檢定成績ガ適當ナル……檢定ノ成績ガ相當ノ折合ヒヲ認ムル迄、特ニ全國檢定設備ノ完成シタル後、一齊ニ檢定取引ヲ實施セラレルト云フコトハ最モ策ノ得タルモノデハナイカト考ヘラレルガ、此ノ點ニ付テ政府ノ所見ハ如何デアリマスルカ、尙特約取引ノコトニ付キマシテ、是ハ矢張り産繭處理統制法案ノ實施ノ上ニ於テ圓滿ナル成績ヲ見ルヤウニ希望致シマス

點カラノ御質問デアリマスルガ、政府ハ特約取引ヲ合理的形態ノ一ツトシテ之ヲ本法案ニ御掲ゲニナツテ居ルノデアリマスルガ、此ノ特約取引ト云フモノハ、此ノ官憲ノ懲罰ヲ俟タズ、養蠶製絲業者ノ間ニ自然ニ發達シタル所ノ形態デアリマス、其ノ成長ノ途中ニアツテ若干ノ弊害ヲ生ジタトハ云フモノ、是ガ一般的ニ普及シテ居リマスルト云フコトハ、其ノ取引方法ガ養蠶製絲業者ニ非常ナル便益ヲ與ヘルト云フ點カラデアルト思フノデアリマス、ソレデ今日産繭處理統制法ニ於キマシテハ産繭處理ノ四ツノ形態ヲ認メテ居ラレルノデアリマスルガ、此ノ一ツタル所ノ特約取引ト云フモノ、此ノ歴史ノニ存在シテ居ル特約取引ト云フモノニ對シテ、特ニ獎勵助長ヲ加ヘラレルト云フコトハ如何デアアルカトモ思ヒマスルガ、此ノ特約取引ノ自然ノ發展ト云フモノニ對シテ、何か制限ヲ御加ヘニナルト云フヤウナ御意思ガアルヤ否ヤ、特ニ獎勵ト云フ程ノ必要ハナイガ、此ノ自然ノ發達ト云フヤウナ場合ニハ、ソレニ對シテ或種ノ制限ヲ御設ケニナルト云フヤウナ御意思ガアルヤ否ヤ、是ハ特約取引ノミ大イナル膨脹ノ發達ヲスルト云フコトハアリ得ナイコトト思ヒマスルガ、特ニ制限ヲ設ケラ

レルコトガアルヤ否ヤト云フコトニ付テ御尋シタイト思ヒマス、殊ニ特約取引ト云フモノガ或種ノ弊害ヲ生ジマシタガ爲ニ、今回ノ法案ニ於キマシテハ特約取引ニ對スル認可制ヲ御掲ゲニナツテ居リマスルガ、是ハ單ニ弊害ヲ矯正セムガ爲ノ認可デアツテ、特ニ既存ノ特約取引ニ向ツテ何等カノ抑制ヲ加ヘヨウト云フ御意思デアアルノデナイト云フコトハ、私共當業者ニ於テ十分是ハ認メテ居リマス點デゴザイマス、ソレデ此ノ認可ニ當リマシテハ、特殊ノ事情ガアレバ不認可ト云フコトモアリマセウガ、大體ニ於キマシテ製絲、養蠶業者ノ間ニ圓滿ナル取引ガ出來テ居ル、歴史ノアルモノニ對シテハ十分ニ既得ノ權利ヲ尊重シテ戴クト云フコトガ宜シイト考ヘマスルガ、政府ハ之ニ付テ如何ナル御意見ヲ有ツテ居ラッシャイマスデセウカ、ソレヲ御尋シタイト思ヒマス、尙少シク附加ヘ、テ申上ゲタイト思ヒマスルコトハ、若シ政府ニ於カレマシテ之ヲ何割程度ニ止メ置カウト云フコトノ釘付ノ御考ヘハナクトモ、特約取引ノミノ急激ナル發達ト云フコトハ成ルベク防止シタイト云フヤウナ考ガ假ニアリマシテ、サウシテ認可ニ向ツテ若干ノ考慮ヲ拂ハレルト云フ場合デモ、例ヘバ甲ノ製絲場ト云フモノガ

何百萬貫ノ此ノ原料ヲ得ル爲ノ特約取引ノ組合ヲ持ツテ居リマスル場合ニ、若シ何カノ事情デ以テ其ノ特約組合ガ他ノ製絲場ト契約シテ、最初ニ申上ゲマシタル所ノ製絲場ガ特約組合ノ一部ヲ失フト云フ場合ニ於キマシテハ、此ノ現状確保ノ意味カラシテ他ニ特約組合ヲ得タイト云フ希望ハ當然起テ來ルノデアリマスルガ、斯ウ云フ場合ニ、成ルベク事情ノ許ス限リ政府ニ於カレマシテ新ニ特約組合ノ申請ヲモ御許シ下サルト云フヤウニナリマスレバ、大製絲ヲ經營シテ居ラレル側ニ於カレマシテハ大イニ是ハ意ヲ強ウスル次第デアルト考ヘマス、ソレ等ノ點ニ付テノ御手心ト云フモノハドンナモノデアリマセウカ、御尋シタイト思フノデアリマス、今一ツ御願ヒ致シタイト思ヒマス、是ハ此ノ問題ト直チニ直接ノ聯關ハ有ツテ居リマセウカ、原蠶種國家管理法ガ實施サレマシテ、此ノ蠶品種ノ改良發展ヲ圖ツテ當業ノ利益ヲ向上シタイト云フコトニナツテ居リマスルコトハ、私共當業者ノ大イニ喜ブ所デアリマスルガ、同時ニ此ノ普通蠶種ノ製造ト云フモノガ從來ニ比シマシテ非常ニ困難ナル事情ニナツテ居ルト共ニ、此ノ蠶種ノ需要ノ増減ガ著シキ變化ヲ生ジマスガ爲ニ、蠶種業者ハ非常ナル不安ニ驅ラレ

テ居ルノデアリマス、其ノ結果萬一蠶種業者ガ生産スル所ノ蠶種ガ或ハ過剩ヲ來シ、或ハ産額ノ著シキ減少ヲ來スト云フヤウナ虞ガアツテ、此ノ蠶種業全體ノ成績ノ上ニ於テ悪影響ヲ及ボスト云フヤウナコトガアレバ誠ニ遺憾千萬ナ次第デアリマスルカラ、蠶種業組合ノ立場ニ於キマシテハ此ノ原蠶種國家管理ノ實施ト共ニ、普通ノ蠶種國家管理ト云フコトニ付テ調査研究ヲ遂ゲラレ

或ハ過剩ヲ來シ、或ハ此ノ原蠶種ノ不足ニ依ツテ生産ガ著シキ減少ヲ來スト云フヤウナ虞ノナイヤウニ、普通蠶種國家管理ト云フコトニ向ツテモ適當ノ統制ヲ圖ツテ戴クコトガ必要デハナイカト思フガ故ニ此ノ御質問ヲ申上ゲル次第デアリマス、以上ノ諸點ニ付テ御尋ネ致シマス

○國務大臣(島田俊雄君) 只今長野君ノ御質問ノ中デ絲ノ相場ノコトデアリマス

マシテ、此ノ問題ニ付テ適當ナル成案ヲ得ラレムコトヲ希望シテ居ル次第デゴザイマス、此ノ點ニ付キマシテハ昨年豫算總會ノ席上デ普通蠶種國家管理ト云フコトニ付テノ政府ノ御意嚮ヲ御尋シマシタガ、當局大臣ニ於カレマシテハ未ダ此ノコトハ考ヘテ居ナイト云フ御話デアッタノデアリマス、爾來時勢ハ大イニ變化致シマシテ、段々ト此ノ事情モ變ツテ參リマシタガ爲ニ、蠶種業組合ニ於テハ此ノ普通蠶種國家管理ニ付テ政府ガ適當ニ調査研究ヲ遂ゲラレルヤウニ希望シテ已マナイ次第デアリマス、速カニ成案ヲ得ラレタナラバ、之ガ實現ト云フコトニ付テ適當ノ手段ヲ講ジテ戴キタイト思フ

ガ、生絲ノ相場ノ濫高下ト云フコトハ固ヨリ或程度ニ於テ之ガ矯正ヲ要スルコトハ當然デアリマスガ、此ノ生産市場、取引所ニ於テ行ハレマス關係ニ付キマシテハ、是ハ御承知ノ如ク商工省ニ於テ主管ヲシテ居リマシテ、不當ナル手段ニ依ルモノニ對シマシテハ監督ヲスルコトガ出來ルコトニナツテ居リマスガ、其ノ他ノ場合ニ付キマシテハ、是ハ販賣ニ關スル統制ノ問題トシテ考慮シナケレバナラス、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、亂高下ノコトニ付テハ御質問ノ中ニ御述べニナリマシタ御趣旨ノ通りニ、是ハ匡正ヲスベキ必要ガアルト斯様ニ大體ニ於テハ考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ絲歩ノ決定ノコトニ付キマシテハ、是ハ檢定上十分考慮ヲ拂フコトニシテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ

付キマシテハ將來モ十分注意ヲスルト云フコトニ御答ヲ申上ゲテ置キマス、ソレデ御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ此ノ檢定取引ノ統制ノコトデアリマスガ、是ハ御質問ノ中ニ御述べニナリマシタヤウナ趣意デ、大體一齊ニ其ノ準備ヲ整ヘテ實行スルト云フコトガ宜シイト思フノデアリマス

ガ、地方ノ情況等ニ依リマシテ業者ノ方カラ希望ヲ申出ルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、或ハ例外的ニソレヲ考ヘル、斯様ナ意味ニ取扱ヒタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ特約取引ノコトデアリマスガ、是ハ提案ノ説明ノ際ニモ申上ゲマシタ如ク、之ヲ制限ヲスルト云フコトノ趣意ヲ有ツテハ居ラスノデアリマス、從ヒマシテ公正ナル自然ノ發展ニ對シマシテハ、之ニ對シテ掣肘ヲ加ヘルト云フヤウナ意味ハ有ツテ居ラナイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、又既存ノ公正ナル圓滑ニ發達シテ居リマスル特約取引ニ對シマシテハ、是ハ認可ノ際ニ十分考慮ヲ致シマシテ害ヲ起サナイヤウニ致シタイトスウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ蠶種ノコトデアリマスガ、是ハ前ノ議會ニ於テハ考慮シテ居ラヌト云フコトヲ當局ガ申シタト云フヤウナ御話デアリマシタガ、之ニ付キマシテハ普通蠶種ノ國家管理

ト云フコトハ、原蠶種ノ國家管理ノ施行ノ實績ニ鑑ミマシテ、ソレニ依ツテ此ノ普通蠶種ノ國家管理ノコトモ考慮シテ行キタイト、善處シタイト斯様ニ考ヘテ今考研ヲ致シテ居ルト云フ事情デアリマスカラ、左様ニ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(男爵大森佳一君) 大臣ニ對スル御質問ハ成ルベク此ノ際ニ御願ヒ致シマス

○今井五介君 今長野君カラ巨細ニ互リマシテ伺ヒマシタガ、モウ一ツ伺ツテ見タイトハ、本案ガ實施サレルニ當リマシテ、認可ノ手續上下シテ御執リニナルカ、實ハ全國ニ互ツテ數十萬ノ組合員ガアリマスルノデ、是ノ認可ノ手續ノコトニ付テ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(島田俊雄君) 是ハ政府委員カラ一ツ御答ヲ申上ゲマス

○政府委員(井野碩哉君) 特約取引ノ認可ノ方針ニ付キマシテハ、現在蠶絲業法第十條ニ依リマシテ、各府縣デ色々ノ異ツタ命令ガ出テ居リマス爲ニ、製絲業者、養蠶業者共ニ非常ニ利、不利ガアルト云フ實情デゴザイマスルノデ、之ヲ今回統一一致シマシテ、一貫シタル認可方針ニ依リマシテ全國齊一ノ指導監督ヲ加ヘテ行キタイト云フコトガ當局ノ考デゴザイマス、此ノ方針ニ付

キマシテモ、詳細ナル事柄ハ御手許ニ配付致シマシタ命令事項ノ中ニ大體掲ゲテ置キマシタガ、認可ニ當リマシテハ、現在既存ノ特約取引ヲ致シテ居リマスルモノニ對シマシテハ、出來ルダ現在ノ状態ヲ尊重致シマシテ、サウシテ徒ラニ之ヲ抑制スルト云フヤウナ事柄ヲ致シテ行カナイ積リデ居リマス、從ツテ此ノ蠶繭處理ヲ合理的形態ニ指導シテ參リマス際ニモ、現在特約取引ト云フモノハ四割ヲ占メテ居リマスガ、之ヲ縮小セシメテ行クト云フ方針ヲ執ラナイ積リデゴザイマス、出來ルダケ現狀維持ヲ圖リマシテ、他ノ成行、振賣ト申シマスカ、成行取引、振賣取引ト申シマスカ、即チ此ノ振賣取引ノ方ヲ乾繭組合ナリ、組合製絲ナリ、特約ノ方ニ持ツテ行ク、斯ウ云フヤウニシテ行キタイノデゴザイマスカラ、特約ニ付キマシテハ、既存ノ領分ニ無暗ニ干涉致シマシテ、之ヲ縮小致スト云フコトハ致サナイ積リデゴザイマス、大體左様御了承ヲ願ヒマス

○今井五介君 大體了解ヲ致シマシタガ、茲ニ私ノ希望ト申シマスカ、意見トシテ政府ニ於テ御聽キテ願ツテ置キタイノハ、兎角新シキ法案ノ實施ニ當リマシテ、御上ノ意思ガ徹底ヲシナイ虞ガアル、殊ニ本案ノ

如キハ廣汎ニ互ルモノデ、此ノ趣旨ノ徹底ハ隨分困難ダト思ヒマス、ドウカ只今ノ手續上ノ事、其ノ他本案ノ趣旨ヲ遺憾ナク徹底スルヤウニ御進ミニナルコトヲ私ハ希望ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(井野碩哉君) 只今ノ御希望ニ付キマシテ一言申述ベテ置キマスコトハ、此ノ法案ガ施行致サレマス際ニハ、各府縣ノ主任官ヲ集メマシテ、能ク政府ノ意ノアル所ヲ示シマシテ、認可方針ニ付キマシテハ是ハ各府縣デ致スコトデゴザイマスカラ、中央ノ意思ガ徹底致シマセスト、折角企テマシタ此ノ計畫ト云フモノガ却テ害ヲ起スコトニナルノデゴザイマスカラ、是ハ主任官ヲ集メマシテ、能ク我々ノ考ヘテ居リマス所ノ徹底ヲ圖リタイ、斯ウ考ヘテ居リマスカラ一ツ左様御了承ヲ願ヒマス

○委員長(男爵大森佳一君) 大臣ニ對スル御質問ハモウ宜シウゴザイマスカ……御質問ガナケレバ一時懇談會ニ入りタイト思ヒマスガ宜シウゴザイマスカ

〔贊成〕ト呼フ者アリ
○委員長(男爵大森佳一君) ソレデハ速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕
○委員長(男爵大森佳一君) 速記ヲ始め

テ……御質問ハ是デ終了シタモノト認メマシテ討論ニ入りタイト思ヒマス

○委員長(男爵大森佳一君) 御意見ヲ……
○長野忠次君 昨日來段々御審議ヲ重ネラレマシテ、殊ニ先刻大臣ニ對スル質問ニ依ッテ、御懇切ナル説明ヲ得マシテ大イニ了解スル所ガアリマシタ、本法案ハ今日ノ蠶絲業ノ國家的位置ヲ擁護スルガ爲ニ、最モ必要ナル手段デアルト思ヒマスルカラ、原案ヲ一句ノ修正ナシニ御贊成申上ゲタイト思ヒマス、唯希望條件ト致シマシテハ、既ニ質問ノ際ニ申述ベマシタ通りニ、本法案ノ實施ニ當リテ最モ慎重ナル運用ノ方法ヲ講ゼラレムコトヲ、切ニ政府當局ニ希望致シマス次第デアリマス、尙販賣統制ト云フモノニ付キマシテ、此ノ委員會全般ノ御意嚮ハ、此ノ案ト共ニ政府ヨリ速カニ議會ニ提出サレムコトヲ希望セラレルヤウニ承ツテ居リマスカラ、此ノ販賣統制ト云フコトニ付キマシテハ、政府ニ於テモ速カニ此ノ點ヲ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマスルガ、其ノ統制ノ方法ニ付キマシテハ、成ルベク無理ナル人爲の方法ニ依ラズシテ、自然ノ圓滿ナル取引ノ出來得マスルヤウニ、特ニ御考慮ヲ御願シタイト思ヒマス、尙清算市場ノ

管理ト云フコトニ付キマシテハ、農林當局ノ是ハ管下デナクテ、商工省ノ方ニ於テ、清算市場ニ於ケル所ノ不當ノ此ノ事柄ニ付キマシテハ十分管理スル權能ヲ持ツテ居ラル、ト云フコトデアリマスルガ、是ハ動モスレバ其ノ發動ノ宜シキヲ得ザル場合ニハ、却テ清算市場ノ此ノ取引ノ機能ヲ阻礙スルト云フヤウナコトモアリマスト思ヒマスルケレドモ、昨年ノ如キ所謂需給ト云フコトノ關係ニ依ラズシテ、専ラ思惑業者ノ買占、若シクハ賣叩キト云フコトニ依ッテ不自然ニ市價ガ騰リマシテ、「アメリカ」ノ業者モソレニ引摺ラレテ、「アメリカ」ノ「シヨナル」ノ生絲ノ相場モ昂騰スル、其ノ爲ニ折角起リ掛ケテ來タ所ノ蠶絲ニ對スル所ノ需要ガ減縮致シマシテ、サウシテ其ノ反動ト致シマシテ、意外ナル此ノ低落ヲ招クト云フヤウナコトハ實ニ恐ルベキコトデアリマス、製絲業者ト致シマシテモ、其ノ不自然ノ亂暴ナル昂騰ニ依リマシテ、晩秋ニ於ケル繭ノ價格ガ非常ナル騰貴ヲ來シマシテ、製絲業トシテハ其ノ經營ノ上ニ於キマシテ非常ナル惡結果ヲ招來シタノデアリマス、此ノ製絲業者ト養蠶業者ノ間ニ於ケル、繭ノ値段ガ高カッタ、絲ノ値段ガ高過ギタ、斯ウ云フコトハ國內ノ争ヒデアリマ

貴族院

第四部第八類 產繭處理統制法案特別委員會議事速記第二號 昭和十一年五月十九日

シテ、例ハバ製絲業者ノ損失ガ養蠶業者ノ利益トナツテ居レバ、國ノ内ニ於ケル所ノモノハ相互ノ間ニ均霑シ、私共ハ是等ノモノハ製絲業者トシテハ最モ遺憾ナル點デアリマスケレドモ、検査ト云フ立場カラ考ヘマスル場合ニ於テ、製絲業者ノ損失ガ養蠶業者ノ利益トナレバ、ソレデ大體結構ダト考ヘルノデアリマス、ケレドモ若シ亂暴ナル一時ノ清算市場ノ價格ノ昂騰ガナカリセバ當然維持シ得ベキ所ノ價格ヲ、失ウテ、サウシテ國家ノ生産品タル所ノ此ノ蠶絲ノ貿易品ヲ、當然賣ルベキ値段段賣ルコトガ出來ナイ、「アメリカ」ニ自然ニ安賣ヲシテ、而モ之ニ關係シテ居ル所ノ業者ガ悉ク大損失ニ陥ルト云フコトハ、誠ニ恐ルベキ現象デアアル、斯ノ如キ國家ノ大損失ヲ來シテ、之ニ關係シテ居ル所ノ業者ガ非常ナル困難ヲ招來スルト云フヤウナモノニ向ッテハ、此ノ清算市場ニ對スル所ノ其ノ管理ト云フコトノ權能ヲ、或程度ニ發揮セラレムコトヲ望ムコトハ已ムヲ得ナイコトト考ヘル次第デアリマス、但シ是ハ其ノ運用ノ方法如何ニ依ルコトデアリマスルカラ、專ラ政府當局ヲ信賴シテ、善處セラレムコトヲ望ンデ已マナイノデアリマス、唯販賣統制ト云フモノガ

此ノ次ノ議會ニ提出セラレルヤウナコトニナリマスレバ、斯ウ云フ問題モ自然ニ解決ガ出來ルコトトハ考ヘマスルガ、成ルベクハ、此ノ生絲ノ價格ノ暴騰暴落ト云フコトヲ制止スルト云フコトハ焦眉ノ急務デアリマスルカラ、政府ニ於カレマシテ此ノ點ニ付テ御熟考アラムコトヲ希望致シマス次第デアリマス、檢定取引ト云フコトニ付キマシテハ、先刻質問ノ際申述ベマシタ通りニ、ドウカ此ノ檢定成續ノ上ニ於テ十分慎重ノ方策ヲ講セラレマシテ、養蠶製絲兩業者ガ信賴シテ此ノ取引ヲ爲シ得ルヤウニ御願ヒシタイノデアリマス、特約取引ノコトニ付キマシテハ、先刻大臣竝ニ政府委員ノ御説明ニ於テ大體ニ於テ満足スルモノデアリマス、唯從來或程度ノ特約組合ヲ持ツテ居タモノガ、何等カノ場合ニ特約組合ヲ失ウタト云フ場合ニ、ソレヲ補充セムガ爲ニ新ニ特約組合ヲ申請スルト云フヤウナ時ニハ、事情ノ許ス限り政府ニ於テ寛大ニ認可ノ途ヲ講ゼラレムコトヲ希望スルモノデアリマス、斯クノ如キ理由ニ依リマシテ私ノ希望ヲ申述ベマシテ、此ノ原案ニ賛成ヲ致シマス、同時ニ若シ御許シヲ得マスレバ、此ノ輸出生絲販賣統制案ノ具體案ヲ得テ、速カニ議會ニ提出セラル、ヤウニアリタイト云フコ

トハ、委員會全員ノ御意向ト察シマスカラ、私ハ茲ニ希望決議ト致シマシテ、「政府ハ輸出生絲販賣統制ニ關スル成案ヲ速ニ議會ニ提出セラレムコトヲ望ム」、斯ウ云フヤウナ文句ニ於キマシテ、之ヲ希望決議トシテ、此ノ委員會ノ本法案ノ可決ニ對スル決議ト同時ニ、此ノ希望決議ヲ合併セテ御決議アルコトニナリマスレバ、至極結構ダと思ヒマス次第デゴザイマス、其ノ事柄ヲ併セテ申述ベテ置キマス

○子爵織田信恒君 本員モ產繭處理統制法案ノ原案可決ニ賛成ノ意思ヲ表示致シマス、尙ソレニ對シテ附帶決議ノ原案ヲ今長野委員カラ御話ガアリマシタガ、ソレモ承認致シタイト思ヒマス、尙他ノ二案ニ對シテモ原案通り賛成ノ意ヲ表シマス

○委員長(男爵大森佳一君) 他ニ御意見ゴザイマセヌデスカ、ソレデハ採決ニ入りマス、採決ノ順序ハ、第一ノ法案、產繭處理統制法案ヲ第一ニ、採決致シマシテ、其ノ次ニソレニ關連致シマシタ希望決議案、是ハ長野君ノ御提出デ織田子爵ノ御賛成ガアリマシタ、之ヲ採決致シマス、然ル後残りマシタ蠶絲業組合法中改正法律案、蠶絲業法中改正法律案、此ノ二案ヲ一括シテ採決ヲ致シタイト思ヒマス、如何デゴザイマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○委員長(男爵大森佳一君) ソレデハ第一ノ產繭處理統制法案ニ付キマシテ御異議ゴザイマセヌデセウカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○委員長(男爵大森佳一君) 可決確定ヲ致シマシタ、次ニ蠶絲業組合法中改正法律案、蠶絲業法中改正法律案、之ヲ一括致シマシテ御異議ガゴザイマセヌデセウカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○委員長(男爵大森佳一君) 此ノ二案可決確定ヲ致シマシタ、三案トモ可決ヲ致シ、希望決議案モ可決致シマシタ、連日委員諸君ノ御勉強ヲ感謝致シマス、尙政府委員ノ方ノ勞ヲ多ト致シマス、是デ全部結了致シマシタ、閉會ヲ致シマス

午後三時三分散會

出席者左ノ如シ

委員長 男爵大森 佳一君

副委員長 子爵松平 康春君
委員

公爵山縣 有道君

侯爵井上 三郎君

伯爵黒木 三次君

子爵米津 政賢君

子爵織田 信恒君

嘉納治五郎君

男爵三須 精一君

男爵徳川 喜翰君

中村純九郎君

西野 元君

若尾 璋八君

今井 五介君

江口 定條君

武井覺太郎君

長野 忠次君

米原 章三君

國務大臣

農林大臣 島田 俊雄君

政府委員

農林省蠶絲局長 井野 碩哉君

昭和十一年五月十九日印刷

昭和十一年五月二十日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局